

2022年11月14日

各位

A b a l a n c e 株 式 会 社
代表取締役社長 光行康明
(コード番号 3856 東証スタンダード)
問合せ先：管理本部長 小野公久
電話：03-6864-4001 (代表)

通期業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、2022年8月15日公表の2023年6月期の通期連結業績予想について、以下の通り、上方修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2023年6月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年7月1日～2023年6月30日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	110,000	2,900	2,810	1,280	231円05銭
今回発表予想 (B)	150,000	4,150	3,800	1,450	(注) 87円25銭
増減額 (B - A)	40,000	1,250	990	170	—
増減率 (%)	36.4%	43.1%	35.2%	13.3%	—
(ご参考) 前期実績 (2022年6月期)	92,435	1,697	1,510	867	158円33銭

(注) 今回発表予想 (B) に記載の「1株当たり当期純利益」は、本年8月31日を基準日として、普通株式1株につき3株の割合をもって分割した後の発行済株式総数に基づく期中平均株式数により算出しております。

2. 上方修正の理由

太陽光パネル製造事業を営むVSUN社において、欧米市場向けのパネル受注が当初の想定を超えて好調に推移していること、計画時における各地域の港湾の停滞状況が当第1四半期に入って緩和化し、輸送用コンテナ船往來の円滑化に伴いパネル出荷が促進されたこと、本格稼働まで想定していなかった第4工場が現状においてテスト稼働をすでに迎え、翌年明けから順次稼働が見込める状況になったこと、これらに加えて、ベトナム国におけるコロナ禍からの回復過程や高騰傾向にある原材料費・輸送費の価格転嫁等が計画時に比べて年明け以降に順調に推移したこと等から、通期連結業績予想数値を上方修正するものであります。

各予想数値の試算に当たっては、当第1四半期において、各地域の港湾に係る停滞状況が緩和化され、その一方で、世界のサプライチェーンは十分な落ち着きを取り戻すには至っていない状況、為替変動も激しい状況に加え、ウクライナ危機がこれらに拍車を掛ける様相を呈している等の不安定な外部環境要素を考慮しております。

(通期業績予想に関する注意事項)

上記業績予想等の将来に関する事項は、現時点で合理的と想定し得る前提条件を置いた上で試算しており、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご了承願います。

以 上